

スイレンに魅せられて

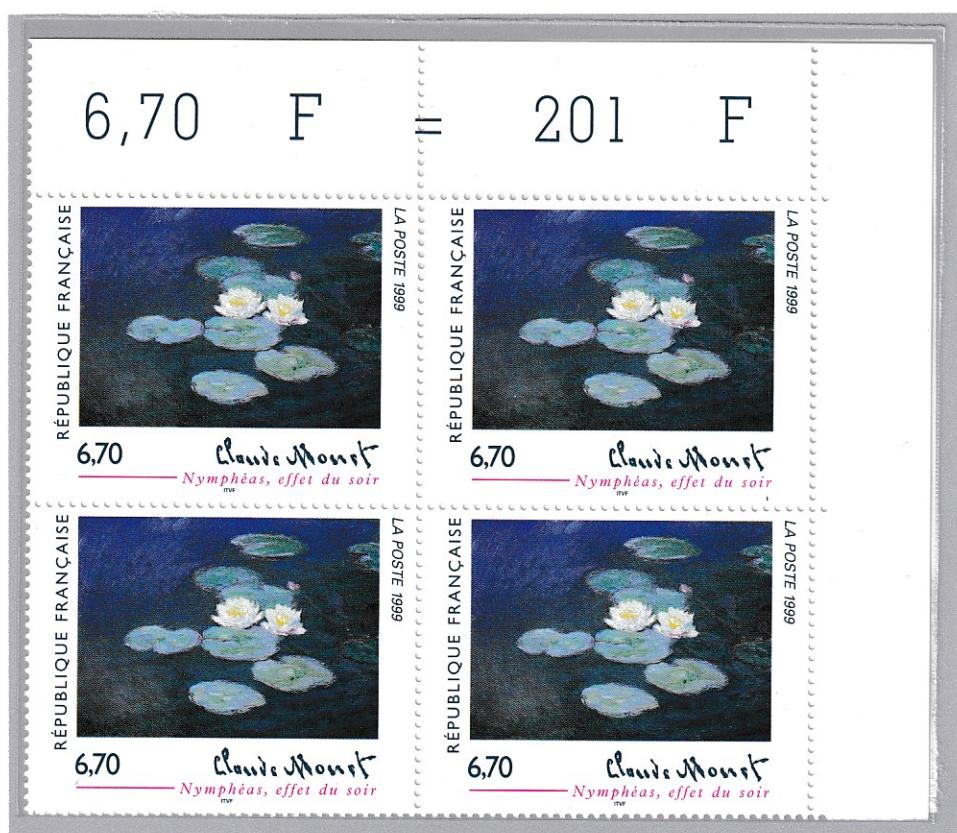
池沼の底泥から色鮮やかな花を水面に届けるスイレンは不思議な力が秘められているのでしょうか。眺めているだけで、あふれ出る幻想的な雰囲気を自然に感じ取れるような気がします。スイレンの花から醸し出される神秘的な情景を切手に描かれた絵で楽しみたいと思います。

絵画を見るスイレン(1)

フランスの印象派画家:クロード・モネ(Claude Monet、1840-1926)は、スイレンを題材とした多くの作品を残しています。掲載切手の図柄は、モネの描いたスイレンです。



プレート・ブルーフ フランス(1999) 夕映えのスイレン

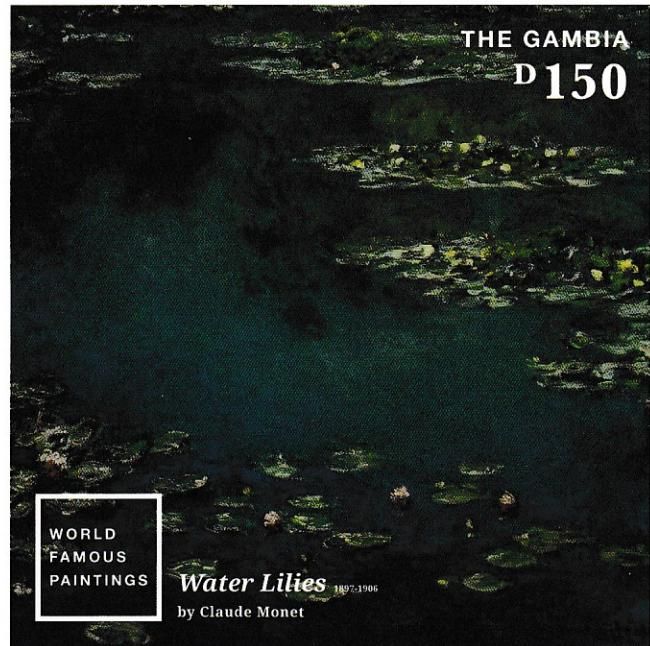


フランス(1999.5.29) 夕映えのスイレン

絵画に見るスイレン(2)



1516



1411

カヌアン島(セントビンセント&グレナディーン諸島)
クロード・モネのスイレンの作品から

ガンビア(2014、3、10)
クロード・モネのスイレンの作品から



小型シート トーゴー(2016、3、31) クロード・モネ(下段の人物)の作品から採用されたスイレン図柄の切手(上段右)

絵画に見るスイレン(3)

フランスの画家、クロード・モネは、自宅の池のスイレンを題材とする200点以上の連作を発表しました。水と光による色彩の効果を巧に生かしてスイレンのある風景を見事に表現しています。

下段の封書には、モネの描いた作品「夕映えのスイレン」から採用したスイレン図柄の切手が貼付されています。
フランスのSAINT-ETIENNEで、2002年10月28日に差し立てられ、日本・東京に届けられました。



FDC マクシマムカード(1999.5.29) 夕映えのスイレン

絵はがきと絵封書に見るスイレン



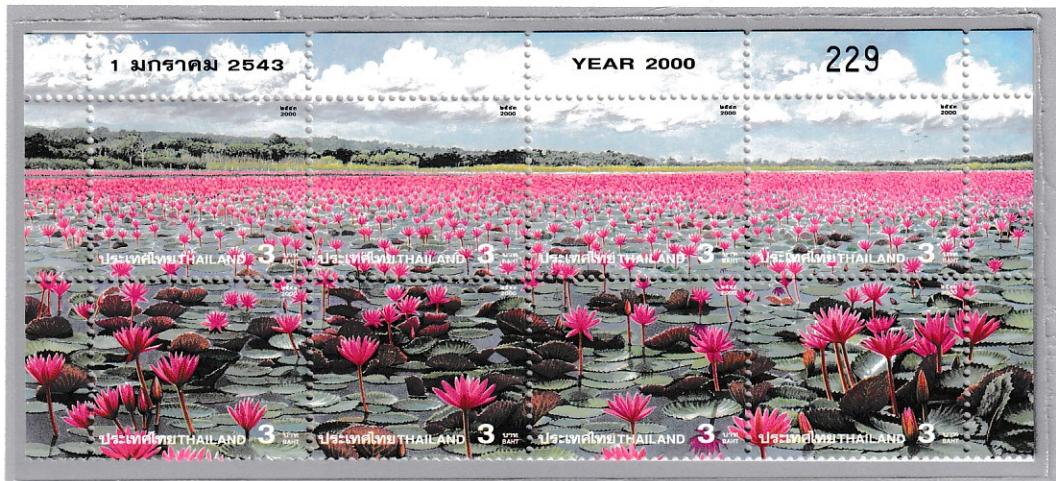
絵はがき FDC アルバニア(1965.10.6) アルバ(Nymphaea alba)



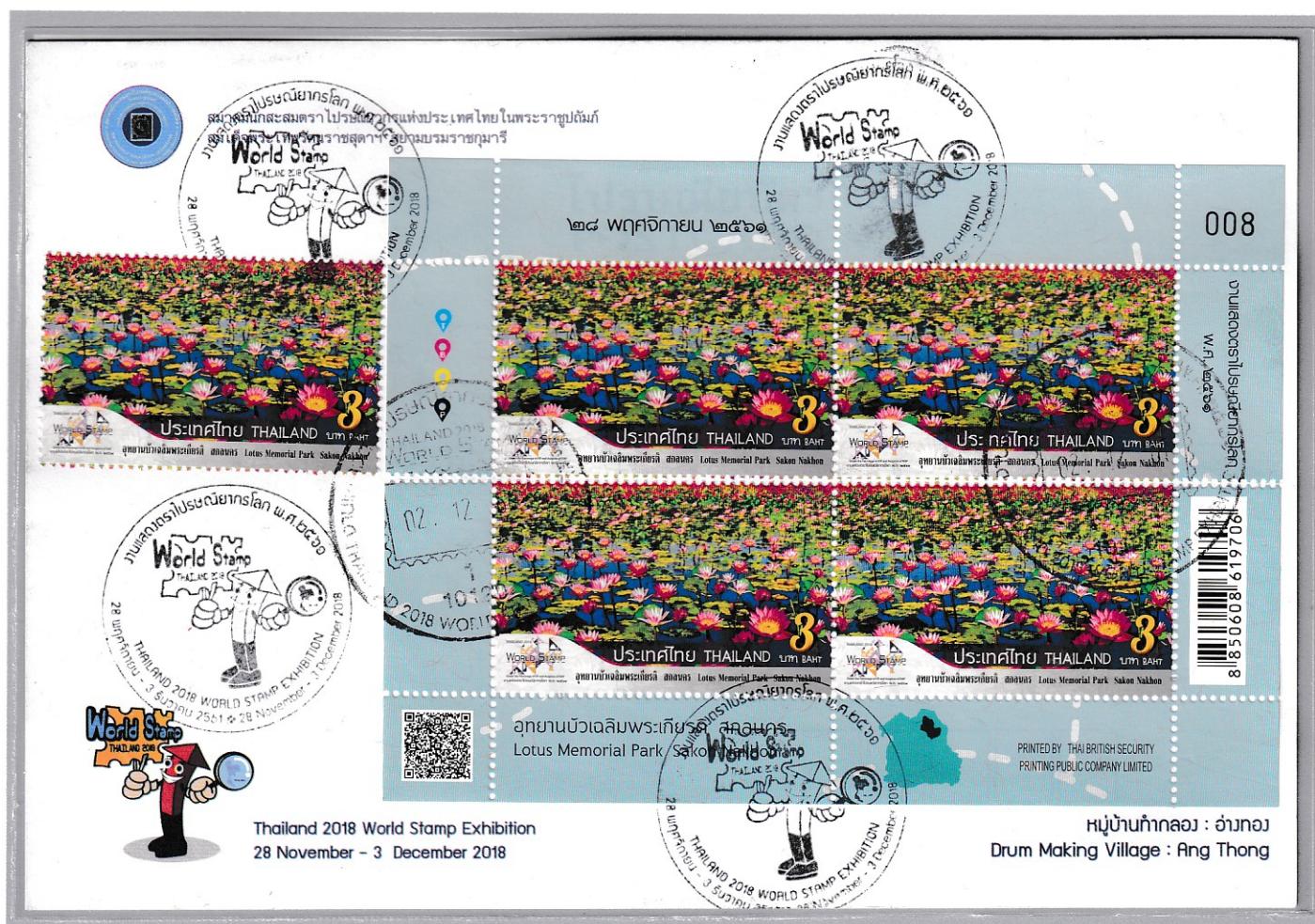
封書 FDC ラトビア(2016.3.4) アルバ(Nymphaea alba)

スイレンの種類(1) ヨザキスイレン(*Nymphaea lotus*)

スイレン(すいれん、睡蓮)は、朝開花し、午後に花を閉じます。このことから、睡(ねむ)る蓮(はす)と名づけられたようです。日本に自生するスイレンの仲間のヒツジグサは、未(ひつじ)の刻(午後1~3時)に花を開き、夕方の5~6時に花を閉じることから、このように名づけられています。現在では、品種改良された多くのスイレン類があり、花の開閉時間は品種によってさまざまです。



小型シートの部分 タイ(2000.1.1) ヨザキスイレン(*Nymphaea lotus*)



記念カバー タイ(2018.11.28) ヨザキスイレン(*Nymphaea lotus*)
記念切手シリーズ(観光地)6種の内の1種(Lotus Memorial Park, Sakon Nakhon ヨザキスイレン群生地)

スイレンの種類(2) ヨザキスイレン(*Nymphaea lotus*)

浮葉植物のヨザキスイレンは、夜に花咲くスイレンのことですが、エジプトの国花でもあるので、エジプトスイレンとも呼ばれています。北東アフリカや西アジアが原産地です。地下茎から伸びた茎には葉と花を1つ付けます。花色は白系で大きさは20cm程度です。夜に開花し、午前に閉じます。



カンボジア(2005)

カンボジア(2005)

カンボジア(2005)

カンボジア(2005)

カンボジア(2005)



ラオス(1974)



ルーマニア(2008)



カンボジア(1970)



カンボジア(1989)



ニカラグア(1981)



ボツワナ(1981)



ベトナム(1987)



アフガニスタン(1997)



モーリタニア(1965)



コート・ディボアール(1997)



セネガル(1981)

スイレンの種類(3) セイヨウスイレン(*Nymphaea alba*)

セイヨウスイレンは、多くは白花系の花を咲かせます。比較的大きい湖沼に生育しています。北アフリカ、温帯アジア、ヨーロッパ、熱帯アジアが原産です。



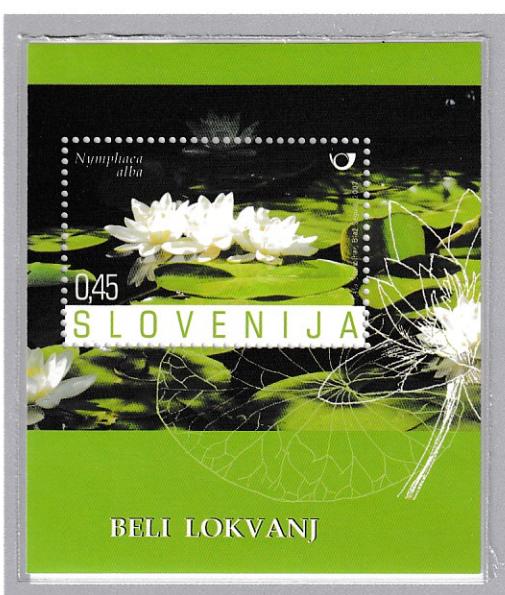
コートジボアール(1997)



ルーマニア(1984)



カザフスタン(2001)



スロベニア(2007)



ボスニア・ヘルツェゴビナ(2008)



ジャージー(2001)



キュバ(1982)



クロアチア(2006)



小型シート モルドバ(2008) 下段の切手3種 セイヨウスイレン

スイレンの種類(4) セイヨウスイレン(*Nymphaea alba*)

セイヨウスイレンは、水深30~150cmの深さの比較的大きな池や湖に生育しています。葉の直径は30cm程度に広がります。白色系の花には、多数の雄蕊(おしべ)が目立ちます。



ユーゴスラビア(1989)



オランダ(2022)



ベラルーシ(2001)



スイス(1964)



ボスニア・ヘルツェゴビナ(2016)



カザフスタン(2019)



スエーデン(1985)



ドイツ(1957)



FDC ベナン(1979.2.28) セイヨウスイセン

スイレンの種類(5) N.アンプラ (*Nymphaea ampla*)

N.アンプラは白色系の花で、太い根茎と長い茎のある心臓形の葉を持っています。原産地はメキシコ南部で、北アメリカやブラジルにも分布しています。*和名がないので、種名で表記します。



ルーマニア(1984)



オランダ(1960)



バルバドス(1995)



キューバ(2008)



キューバ(1979)



FDC HERTOGENBOSCH(オランダ) 1960.6.10 → モントリオール(カナダ)
下段の切手の図柄 N.アンプラ

スイレンの種類(6) N.カペンシス(*Nymphaea capensis*)

N.カペンシスは、青色系のスイレンで、熱帯域で生育します。原産地はアフリカです。このスイレンは、降雨が少ない場合でも球根は比較的長い期間を生き残ることができます。



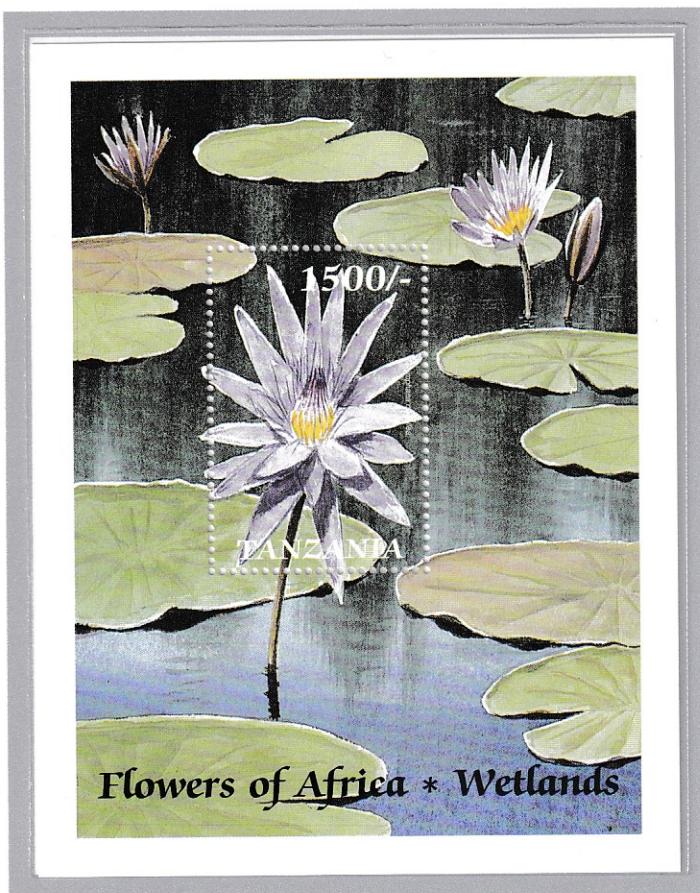
カンボジア(1989)



コート・ディボアール(1997)



カンボジア(1989)



タンザニア(1999)



ベトナム(1987)



ブルンジ(1973)



ニカラグア(1981)



アフガニスタン(1997)



キューバ(1979)

スイレンの種類(7) スイレン属の仲間ー1

スイレン属の仲間は、植物研究者や園芸家等により品種改良され、多くの園芸品種が生育されています。



Nymphaea laydekeri
ベトナム(1987)



Nymphaea rubra
ベトナム(1987)



Nymphaea gigantea
ベトナム(1987)



Nymphaea pubescens
ベトナム(1987)



Nymphaea
B.G. Berry
ニカラグア(1981)



Nymphaea
Daubenyana
ニカラグア(1981)



Nymphaea
marliacea chromat
ニカラグア(1981)



Nymphaea
Dir. Geo. T. Moore
ニカラグア(1981)



Nymphaea
Gladstoniana
ニカラグア(1981)



Nymphaea
sunrise
カンボジア(1989)



Nymphaea
immutabilis
タイ(2002)



Nymphaea
micrantha
コンゴ(1976)



Nymphaea
caerulea
キューバ(1979)



Nymphaea
rubra
キューバ(1979)



Nymphaea
capensis
キューバ(1979)

スイレンの種類(8) スイレン属の仲間ー2

スイレン属の仲間は、異種間交配や人工交配等による園芸品種が各国で多種類生産されています。ここに展示の切手に描かれたスイレンは、当時のタイ国シリキット王妃の名が付けられた品種です。



小型シート タイ(2016.8.10) シリキット王妃スイレン(*Nymphaea 'Queen Sirikit'*)
第32回アジア国際切手展—Thailand 2016 記念切手
異なる色のタブの6種の小型シートが作成されました。
ここでは、その内の2色(青色と薄緑色)を展示しています。

自然保護の象徴としてのスイレン(1)

北欧の5カ国は、1977年、ヘルシンキで「自然保護」に関する協力サミットを開催し、その象徴としてスイレンを採用しました。そして、各国からスイレンを模した同じ図柄の切手(額面2種)を発行しました。



フィンランド(1977)

スエーデン(1977)

ノルウェー(1977)

アイスランド(1977)

デンマーク(1977)



FDC ヘルシンキ(フィンランド) 1977.2.2 ヘルシンキにおける北欧諸国自然保護サミット

自然保護の象徴としてのスイレン(2)

FDC

スエーデン

1977.2.2

自然保護の
象徴
(スイレン)



PRIORITY

[1. luokka - 1 klass]

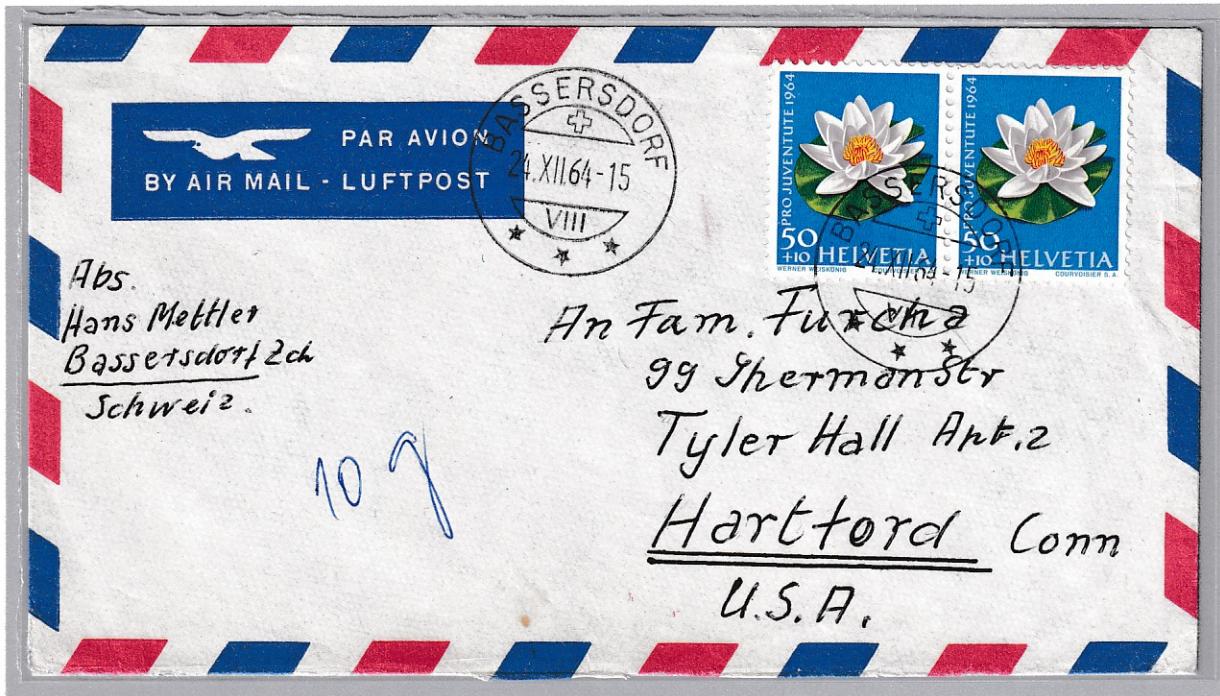


Mr Miyoshi Nagashima
27-14 Nishimogamo 4 Chome
Toshima-Ku, TOKYO 170-0001
JAPAN

封書 ヘルシンキ(フィンランド) 2011.12.15 → 東京(日本) 中央の2種の切手の図柄(スイレン)

スイレン図柄切手使用の封書

北欧の5カ国は、1977年、ヘルシンキで「自然保護」に関する協力サミットを開催し、そのシンボルとしてスイレンを採用し、各国からスイレンを模した同じ図柄の切手(額面2種)を発行しました。

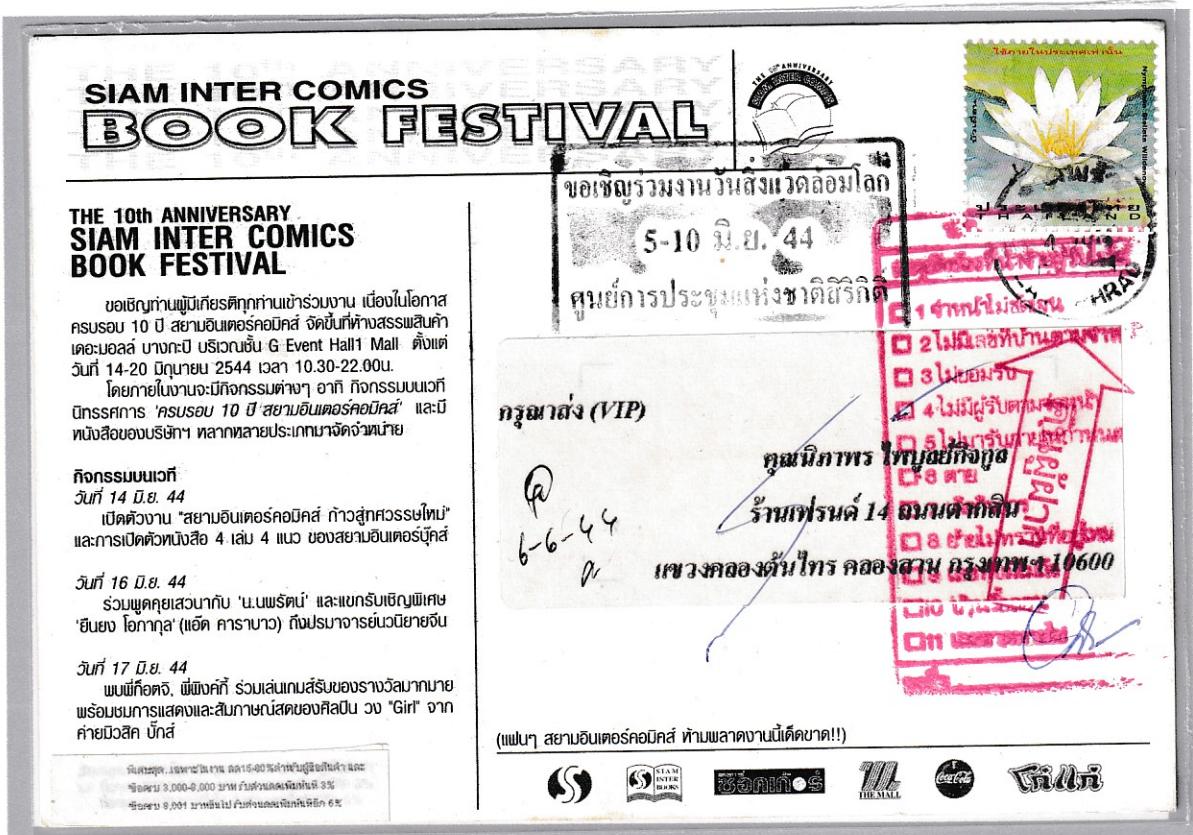


封書 BASSERSDORF(スイス) 1964.12.24 → HARTFORD(アメリカ) N.アルバ(*Nymphaea alba*)の図柄切手(2枚)

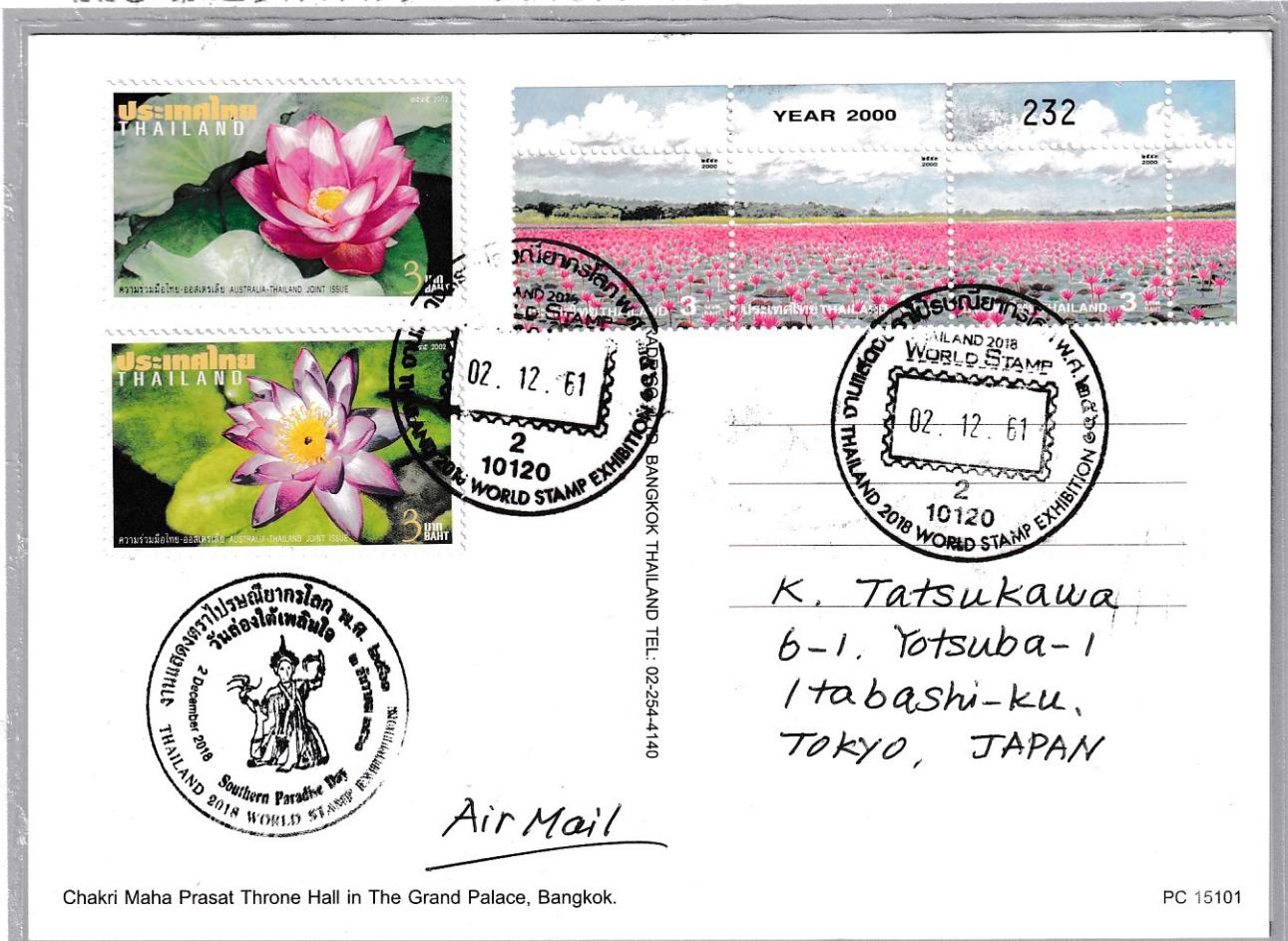


封書 ストックホルム(スエーデン) 2012.6.7 → KIENBAUM(ドイツ) 右側の貼付切手4枚 N.アルバ(*Nymphaea alba*)

スイレン図柄切手使用のはがき



はがき 第10回サイアム・インター・コミック本まつり 案内はがき 2001.6.5 ムチャリ タイ(1997)



はがき バンコク(タイ) 2018.12.2 → 東京(日本) 貼付切手の図柄はスイレンの一種と(Nymphaea lotus)